

2012（平成24）年度予算について

青山学院財務部

青山学院の2012（平成24）年度（以下、当年度）資金・消費収支予算は、予算会議の議を経て、収益事業部予算とともに、本年3月23日開催の評議員会、引続き開催の理事会で承認されました。

当年度の予算編成に先だち、2011年6月1日に理事長名で「2012年度予算編成方針」を各学校（以下各部）に発信しました。具体的には、「①各部において収入拡大への努力を最大限行うこと、②支出については、すべての経費の見直しを行い、経常的経費はこれまでの予算と使用実績の差異を分析し、真に必要な適正金額を申請すること、臨時的経費についても必要性・緊急性を吟味し立案すること」とし、通常の帰属収入で通常の消費支出を賄い、さらに帰属収支差額の拡大に努めることを基本方針とするものです。

各部からは、法人本部より示された概算提示額に沿って策定された予算案が申請されましたが、編成の過程では、肥大化傾向にあった経常的経費について、実績との差異を確認し、政策的な予算（臨時的経費）へ充てるための修正等を行っております。

当年度予算では、収入面では大学の学費改定（入学金の減額・施設設備料漸増額の圧縮・在籍基本料の新設）による減少や、短期大学の学科改組に伴う入学者減等により学生生徒等納付金収入が前年度補正予算比7.5億円程度減少する見込みです。

一方、支出面では、大学17号館新築・高等部校舎建替工事費及び耐震補強工事をはじめとした各建物の保全改修や、2013年4月から大学の人文・社会科学系学部の1・2年生の教育課程が青山キャンパスに移行する準備費用を盛り込んでおります。また東日本大震災の被災学生に対し、学費減免や本学教職員による奨学金制度など様々な支援も引き続き行っております。

今年度実施予定の主な案件としては、

- ① 青山キャンパス再開発の取組の一環として、大学17号館新築・高等部校舎建替工事費（92.4億円）
 - ② 大学就学キャンパス再配置に伴う諸経費等（8.8億円）
 - ③ 東日本大震災被災学生支援諸経費（1.1億円）
- 等があります。

本学を取り巻く環境は少子化や長引く経済の低迷等、厳しい対応を余儀なくされる状況にあります。一方で今後も予定される大学図書館建築や中等部建替えなどの青山キャンパス再開発は長期間に及ぶ大事業ですが、これらは青山学院をさらに発展させるために継続して実施していくことが必要となります。そのためにも限られた財源を有効に活用していくことを念頭に、青山学院は、従来以上に厳正な予算執行に努めてまいります。

以上